

令和4年度第3回オンライン自主研修 感想・意見

○ 1時間30分のほとんどが3つの事例紹介で、とても丁寧な説明でした。事例はどれも、落ち着いて、論理的に、よく考えられた内容で、対話が途切れずスムーズに展開していました。

実際は、こうは行かないであろう。また、これによる面接は何回もできるものではなく、おそらく、対象者との信頼関係が築け、対話が続く頃で、対象者が次のステップに臨むタイミングに行うものと思います。

確かに、自分の位置、人との関わりが、可視化、共有化、具体化できる優れた面接ツールのひとつです。

○ コインマップがその人の気付きになる点は理解できたが、実際に自分が対象者に対して実施出来るかと言えば、今回の研修だけでは不十分だと感じた。

コインマップの意図するところを説明して、それに上手く相手を誘導するには、もう少し勉強が必要。

○ コインマップの手法は、視覚的に、対象者の人間関係や愛着、精神的なつながりまでを知る上で、非常に有効だと感じました。

コインを選択し、配置し、さらにそれを移動してみると言う作業を行う過程で、対象者自身の漠然とした感じ方や、曖昧な自らの目標を、幾分明確にすることもでき、保護司にとっても、対応の方向性を決めるのに役立ちます。

コインを使わなくても、考えられる登場人物や物を全て、最初に1枚の用紙に○の大きさを覚えて書かせ、その用紙を見ながら、別の用紙に配置してもらうなど、場に合わせた応用もできそうです。

機会があれば、使ってみようと感じました。

○ 保護司として、対象者との面談に困難を感じる場合があります。保護観察が始まって最初の頃の面談は、聞かなければならないことも多く、対象者も真面目に取り組もうとの気持ちから、聞いたことへの返事や近況の報告について積極的に話して頂けますが、面談の回数が増えると、

令和4年度 東灘区保護司会 第3回オンライン自主研修のご案内

【教材】

【自主研修の要領】

ご覧になった感想、意見を100字程度にまとめて
東灘区保護司会広報部会宛
「所属支部」「氏名」「視聴月日」を記入してメールください。(支部長による代行メールでも結構です)
送付期限は令和4年10月15日(土)です。(期限遵守と100字程度の感想・意見は必須です)

マンネリ化が進み、会話・話題が乏しくなってきます。

そのような時期に、対象者の人間関係等について、「コインマップ」の手法を取り入れると、人間関係の状況が浮き彫りになり、保護司の理解が進みます。しかし、それ以上に重要なことは、対象者が自らの状況に気づき、それをもとに、改善方法を探ることができる点にあると思います。

対象者との面談において、必要性や可能性を吟味し、取り入れてみたいと思います。

○ 「コインマップ」という手段を今回のオンライン研修で初めて学び、詳しく知ることが出来ました。

資料を手元に、3つの丁寧なコインマップの実例を拝聴し、意義、目的、行動過程での有効さを学びました。

講義の最後の質疑でもありましたが、保護司が対象者と向き合い、面接するなかで、実際にお金(現金、コイン)を本当に使ってよいのか、また、対象者が「やらされた感」等々の感情を持つことのないように、実際に面接でコインマップを活用する時は、私のような未熟な保護司は、保護司自身の対応の習得と技術も必要かと感じました。

○コインマップについてのお話でしたが

①対象者が受け入れてくれるかが不安になりました

1分でも2分でも早く帰りたいと考えているところに
(すべての対象者がそうだとは思いませんが)

「めんどくさいなー」と思われるかと心配です

②自分のコインを決めるのに大きさや光具合等

他の人のコインを決める判断基準を説明してないのが
どうかと思いました。

5円を選んだ方は、500円の厚生施設をどの様に感じ選んだのか

500円を選んだ人は100円の施設・病院

そこでお世話になった人を50円でどう感じたのか

(だったと記憶しておりますが違ってたらすいません)

大きさや金額を考えて選ぶのかと思っていたので

意外な展開で驚いています

あと、本人は分かっているも

こちらから見て、どれが誰だか分からなくなりそうでした

機会があれば実行してみたいと思います

○コインマップの研修ですが、資料を取り寄せ楽しみにしていたのですが、指定の日時に観ることができませんでした。

大変恥ずかしい事なのですが、未研修でお願いいたします。